

## ■ 株主メモ

証券コード	7716
事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
株主確定基準日	定時株主総会議決権行使の基準日 12月31日 期末配当金の基準日 12月31日 中間配当金の基準日 6月30日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 0120-782-031(フリーダイヤル)
公告方法	当社ホームページに掲載します。ただし、やむを得ない事由によって電子公告することができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQ スタンダード
お知らせ	<ul style="list-style-type: none"><li>● 住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設された株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。</li><li>● 未払配当金の支払いについて 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。</li></ul>



### 表紙写真: エア-ON/OFF切替スイッチ付ハンドピース「Z95L SW」

吐出されるエアのみをON/OFF切り替えてできる機能(当社特許)を持ったハンドピースを開発し、治療中に発生する「エアロソル」を最小限に抑えることに成功。昨年7月に発売し、欧米で大変高い評価を頂きました。この製品が契機となり、英国では競合他社の独壇場であった歯科大学20校中15校に当社製品が初めて納入されました。

# BUSINESS REPORT

第70期第2四半期 2021年1月1日～2021年6月30日

株式会社ナカニシ



# NSK

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

コロナ禍とともに立ち上がった「歯科医療現場における感染対策強化ニーズ」は世界的な潮流となっており、この世界需要の獲得に励んだ結果、中間期決算としては過去最高の業績となりました。

新型コロナウイルス・パンデミック以降、当社グループは従業員の健康・安全を第一としながらも、海外現地法人とともに世界各地の営業活動を一度も絶やすことなく継続してきました。これが世界のお客様から絶大な信頼を得るに至り、当社製品の市場シェアが世界各地で大きく拡大しました。

世界シェアの拡大と歯科医療現場の感染対策強化ニーズの高まりで、世界販売のベースラインが上昇してきたことから、中期経営計画「NV2025」で計画していた新工場建設を前倒しで実施することにしました。計画に掲げる2025年連結売上高500億円の達成に向け、生産能力の増強を着実に進めていきます。

なお、当社はこの度、これまで制作してきた「環境レポート」の内容をさらに充実させた「サステナビリティレポート」を制作・発刊しました。ナカニシのミッション“革新的『削るテクノロジー』による『美しい進歩』の創造”に向けた日々の事業活動において、サステナビリティに関する8つの重点テーマを積極的に実践し、ステークホルダーの皆様と最良の価値交換をし続ける企業を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社の成長にご期待頂くとともに、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長執行役員

中西 英一




## 2021年上半期の業績について

当上半期においては売上高・営業利益・親会社株主に帰属する四半期純利益のいずれも過去最高を更新しました。

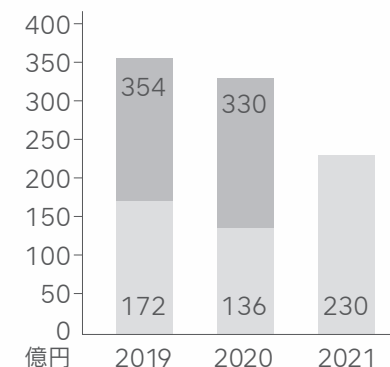
世界各地の販売が順調に推移し、売上高は前年同期比68.1%増の230億円となりました。粗利率の向上や活動制限に伴う販売費の抑制が寄与し、営業利益は前年同期の約3.2倍の76億円となりました。大幅な営業増益を受け、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期の約2.9倍の53億円となりました。

歯科製品関連事業においては、感染拡大防止に係る政府助成金を受けて国内販売が大きく伸長したほか、感染対策強化ニーズが続いた海外でも順調に推移し、増収増益となりました。

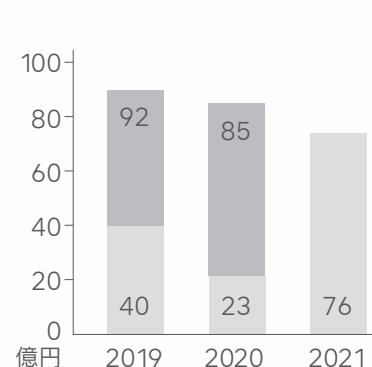
工業製品関連事業においては、製造業の設備投資が復調し、中国を中心とするアジア市場が売上を牽引しました。その他、国内・北米・欧州でも販売回復したことから、増収増益となりました。



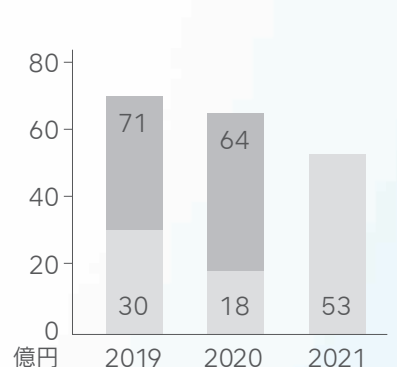
■ 第2四半期(累計) ■ 通期(累計)



■ 第2四半期(累計) ■ 通期(累計)



■ 第2四半期(累計) ■ 通期(累計)



## 歯科製品関連事業の概況について

歯科医療現場における感染対策強化ニーズは世界的に高まっており、当社製品に対する需要も非常に高い水準で推移しました。世界の各市場で販売が伸び、前年同期に比べ大幅増収となりました。

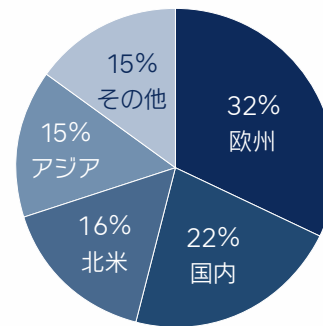
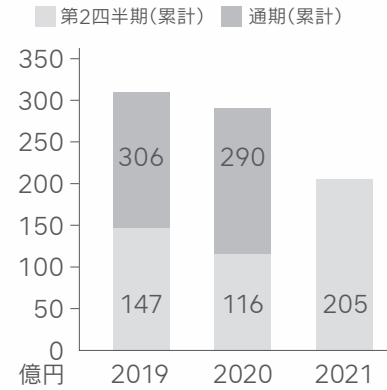
**[ 欧州 ]** 欧州市場の売上高は前年同期比57.5%増の64億円となりました。活動制限が続いたものの、旺盛な需要を取り込んだ現地法人各社が大幅増収となったほか、OEMビジネスも回復しました。

**[ 国内 ]** 国内市場の売上高は前年同期の約2倍の46億円となりました。感染拡大防止に係る政府助成金の一部延長で、想定していた需要反動減は緩和され、OEMビジネスも復調したことで、大幅増収となりました。

**[ 北米 ]** 北米市場の売上高は前年同期の約2.2倍の32億円となりました。旺盛な需要を背景に自社ブランド製品の販売が好調に推移し、市場シェアが拡大したほか、OEM販売も伸長しました。

**[ アジア ]** アジア市場の売上高は前年同期比61.0%増の31億円となりました。中国市場の売上が大きく伸長したほか韓国も順調に推移しました。アジア諸国ではコロナ禍による需要減退が続いたものの、買い控えからの反動需要を取り込み、売上回復しました。

**[ その他 ]** その他地域の売上高は前年同期比64.4%増の29億円となりました。南米・ロシア・豪州の需要が回復し、販売好調でした。厳しい市況が続く中近東では買い控えからの反動需要を取り込み、増収に転じました。



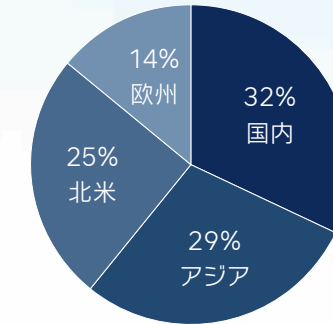
歯科製品関連事業  
2021年上半期  
地域別売上高比率

## 工業製品関連事業の概況について

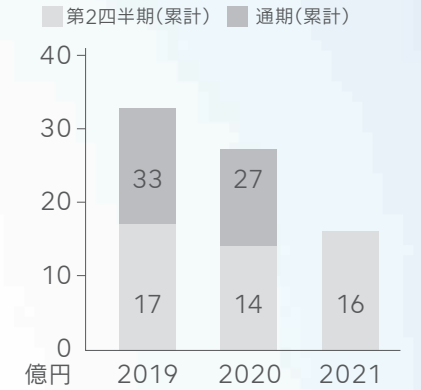
製造業各社の設備投資が回復したことで、工業製品関連事業は世界各市場で販売伸長し、増収となりました。

コロナ禍の影響が後退した中国市場では製造業の需要回復が進み、5G関連投資も追い風となって販売を大きく伸ばしました。国内・北米・欧州の各市場でも需要回復が進み、増収となりました。

投資意欲が回復した製造業に向けて引き続き積極的な営業活動を展開していきます。



工業製品関連事業  
2021年上半期  
地域別売上高比率



## 通期業績予想について

上半期業績が当初の業績予想を大幅に上回る好業績となったことから、下半期以降の事業動向の見通しを踏まえ、通期業績予想を上方修正しました。

下半期においては、歯科製品関連事業で国内やアジアで需要の一服を見込むものの、米州や欧州等では堅調に推移すると見込んでいます。

工業製品関連事業では、中国が引き続き需要旺盛で、その他の市場でも堅調に推移する見通しです。

なお、業績予想の算定の前提となる想定為替レートは1USD=105円、1ユーロ=125円です。

売上高	416億円	前期比 +26.0%
営業利益	130億円	前期比 +52.2%
経常利益	129億円	前期比 +50.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	93億円	前期比 +44.7%

### 想定為替レート

1USDドル	105円	1ユーロ	125円
--------	------	------	------

## 新工場 A1+(エーワン・プラス)の建設 中期経営計画「NV2025」の達成に向けた生産能力増強

当社は、世界135カ国以上に向けて製品を販売しており、そのほぼ全てを栃木県鹿沼市にある本社工場(組立・梱包)およびA1工場(部品加工)で一貫生産しています。昨年から続くコロナ禍によって歯科医療現場の感染対策強化ニーズは世界的に高まっており、当社製品に対する需要も高い水準で推移し続けています。

歯科医療現場における感染対策意識の高まりは一過性のものではなく今後も続く恒久的なニーズと捉えており、また、コロナ禍以降の事業活動によって当社製品の市場シェアがさらに高まったことから、生産能力向上を経営上の喫緊の課題として認識し、新工場の建設によって生産エリアを拡張し、最新鋭の工作機械の追加導入と生産要員の拡充を進めることで、生産能力をさらに一段高めていくことにしました。

延床面積: 5,500㎡(既存工場・A1生産棟: 12,000㎡)

着工予定: 2021年11月 竣工予定: 2022年6月 投資総額: 約18億円



## 競争力のある新製品の上市により、さらなる市場シェア拡大を図る

### 歯科製品 関連事業



インプラント治療用機器

### Surgic Pro2

欧州で販売中

世界に誇るインプラント治療用ドリルの新製品「Surgic Pro2」を本年2月、欧州市場で販売開始。小型・軽量化され、機能性・安全性も向上した新製品として、欧州市場において9月より本格的に拡販します。



歯科治療用ハンドピース

### Ti-Max Z micro

欧州で9月発売予定

軽量・高強度で生体適合性に優れたチタン製エアータービンハンドピースのフラッグシップモデルの新製品で、コンパクトヘッドながらも高トルクを実現しています。9月に欧州全域に向けて販売開始する予定です。

### 工業製品 関連事業



クーラントスルスピンドル

### CTS-3030

7月販売開始

加工時にドリル先端からクーラント(冷却液)を吐出できる小型・高速回転スピンドルの新製品「CTS-3030」を本年7月に発売しました。小型CNC旋盤等に装着できるスピンドルモータユニットで、ドリル加工時間の大幅短縮を実現します。



超音波カッター

### ソニックカッターZERO

8月販売開始

超音波カッターのロングセラーモデル「ソニックカッター」シリーズの新製品。筐体デザインの刷新で操作性・視認性を高め、消費電力の抑制等のユーザーメリットも追求しました。プラスチック・ウレタン等の肉薄材の切断・窓抜き・バリ取り作業に威力を発揮します。

## ナカニシの企業理念とサステナビリティ

ナカニシはグループの価値観「Our Core」において“革新的『削るテクノロジー』による『美しい進歩』の創造”をミッションに掲げており、新しい技術を生み出すことで医療の発展や人々の豊かな暮らしの実現に貢献することを目指しています。超高齢化という世界的な潮流において「健康寿命の延伸」は人類共通の課題となりました。この「健康寿命の延伸」の解のひとつは「歯の健康」であり「体の健康」であると当社は考えます。また、超高齢化に伴う労働人口減少の解のひとつは「工場の自動化」であると考えています。当社は事業活動を通じてこれらの社会課題に対するソリューションを提供するとともに、持続可能な社会の実現にも貢献していきます。



ナカニシの価値観「Our Core」  で検索 🔍

長期ビジョン「VISION2030」  
中期経営計画「NV2025」  で検索 🔍

## サステナビリティ8つの重点テーマ

ナカニシは、創業以来研鑽し続けてきた『削るテクノロジー』を活用し、デンタル・メディカル・工業の各分野で「事業価値」の最大化を図るとともに「社会価値」「環境価値」の創出にも取り組んでいます。2015年の国連サミットにて持続可能な開発目標（SDGs）が全会一致で採択されました。SDGsとして掲げられている17の目標は2030年までの達成を目指しており、この達成期限は当社の創業100周年と重なります。これに向け、事業計画とサステナビリティ重点テーマを両輪に事業を前進させてまいります。



「サステナビリティレポート2021」  で検索 🔍

## 株主還元について

### ■ 株主還元方針

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題のひとつと位置付けており、事業基盤の強化や成長領域への投資を適正かつ積極的に推進しつつ、株主の皆様への利益還元をバランスよく行ってまいります。

将来の成長投資に必要な内部留保を考慮した上で、中期的な利益還元の基準を総還元性向50%として、機動的な自己株式の取得と安定的かつ継続的な増配を行うよう努めてまいります。

### ■ 中間配当の実績

2021年度の中間配当につきましては、当初の予想通り1株あたり17円とさせて頂きました。

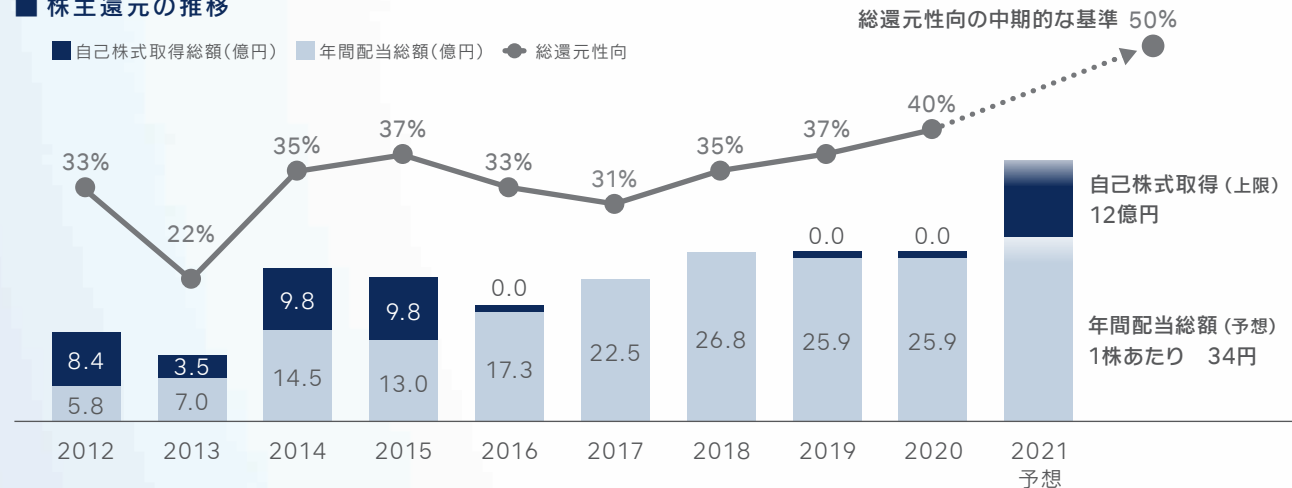
### ■ 期末配当の予想

2021年度の期末配当につきましては、中間配当と同じく1株あたり17円と予想しており、年間配当金の総額は1株あたり34円となる見込みです。

### ■ 自己株式の取得

当上半期が大変好調な業績となったことから通期業績予想を上方修正しました。これに伴い、親会社株主に帰属する当期純利益も前期に比べ大幅増益となる見通しであるため、2021年8月6日に公表しました通り、総額12億円を上限に、自己株式の取得を行うことにしました。

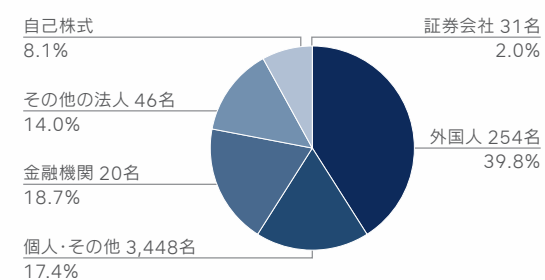
### ■ 株主還元の推移



## 株式の状況 (2021年6月30日現在)

- 発行可能株式総数 ..... 375,000,000株
- 発行済株式の総数 ..... 94,259,400株
- 株主数 ..... 3,800名

### ■ 株式分布状況



### ■ 大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
ナカニシE&N株式会社	4,530千株	5.2%
株式会社日本カストディ銀行(信託口9)	4,346千株	5.0%
JP MORGAN CHASE BANK 385632	3,942千株	4.5%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,350千株	3.9%
株式会社オフィスナカニシ	3,120千株	3.6%
公益財団法人NSKナカニシ財団	3,021千株	3.5%
中西英一	2,814千株	3.2%
中西賢介	2,806千株	3.2%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,781千株	3.2%
中西崇介	2,781千株	3.2%
中西千代	2,781千株	3.2%

(注) 1. 当社は、自己株式を7,602千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

## 会社概要 (2021年6月30日現在)

社名 株式会社ナカニシ  
 設立 1951年2月  
 代表者 代表取締役社長執行役員 中西英一  
 資本金 867,948,542円  
 従業員数 1,230名(連結)  
 本社 栃木県鹿沼市下日向700番地  
 事業所 東京事務所、大阪事務所  
 主要関係会社 NSK-America Corp.(アメリカ)、NSK Europe GmbH(ドイツ)、NSK France S.A.S.(フランス)、NSK United Kingdom Ltd.(イギリス)、NSK Nakanishi Dental Spain S.A.(スペイン)、NSK Oceania Pty. Ltd.(オーストラリア)、NSK Shanghai Co.,Ltd.(中国)、NSK Dental Italy S.r.l.(イタリア)、NSK Dental Korea Co.,Ltd.(韓国)、NSK America Latina Ltda.(ブラジル)、Integration Diagnostics Sweden AB(スウェーデン)、NSK RUS LLC(ロシア)  
 主要取引銀行 足利銀行、みずほ銀行、三菱UFJ銀行、三井住友銀行

役員 (2021年3月30日現在)  
 代表取締役社長執行役員 中西英一  
 代表取締役副社長執行役員 中西賢介  
 取締役専務執行役員 鈴木正孝  
 取締役 野長瀬裕二  
 取締役 鈴木布佐人  
 取締役 荒木由季子  
 常勤監査役 豊玉英樹  
 監査役 澤田雄二  
 監査役 馬来義弘

(注) 1. 取締役 野長瀬裕二、鈴木布佐人、荒木由季子は社外取締役です。  
2. 監査役 豊玉英樹、澤田雄二、馬来義弘は社外監査役です。